

DMG森精機株式会社

2023年度第3四半期(1-9月)決算説明資料

2023年10月25日

1.2023年度第3四半期（1-9月）決算概要

2.事業環境

3.EMO 2023：MX（マシニング・トランスフォーメーション）の進展

- 工程集約機：INH初披露
- 自動化：AMR 2000初披露
- デジタル化：CELOS X コンセプト展示
- 全世界からの工場見学ツアー

4.グループ戦略の強化

5.人材育成の取組み

6.その他

2023年度 第3四半期 (1-9月)決算概要

DMG MORI

- ✓ 連結受注：1-9月 3,995億円（前年同期比：7.5%減）
：7-9月 1,237億円（前年同期比：6.8%減）
- ✓ 受注単価59.5百万円(2022年度平均: 49.8百万円) MX（工程集約、自動化、DX、GX）、円安が寄与
- ✓ 9月末 機械本体受注残高 2,800億円（2022年12月末 2,540億円）
- ✓ 営業利益率大幅改善：

1-9月（第3四半期累計）	9.4%	（前年同期：8.0%）
：7-9月（第3四半期）	10.0%	（同：7.9%）
- ✓ EMO 2023でMX戦略を強化し、EMEA地域の受注引き続き堅調
- ✓ 2023年12月末受注残高予想 2,550億円程度（前年度末同水準）

財務ハイライト 第3四半期決算(1-9月)および年度予想

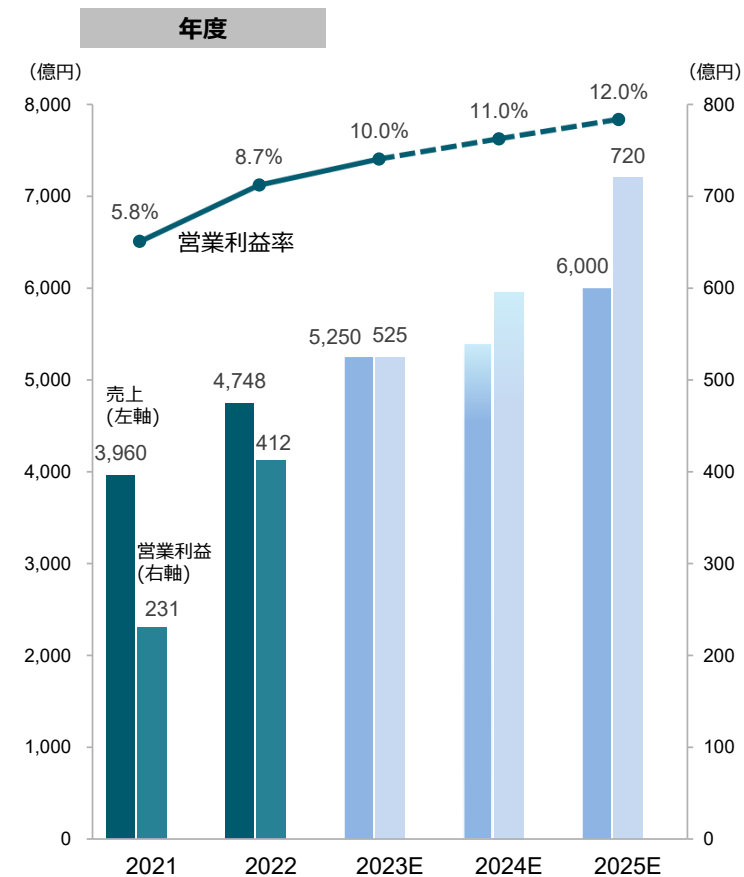
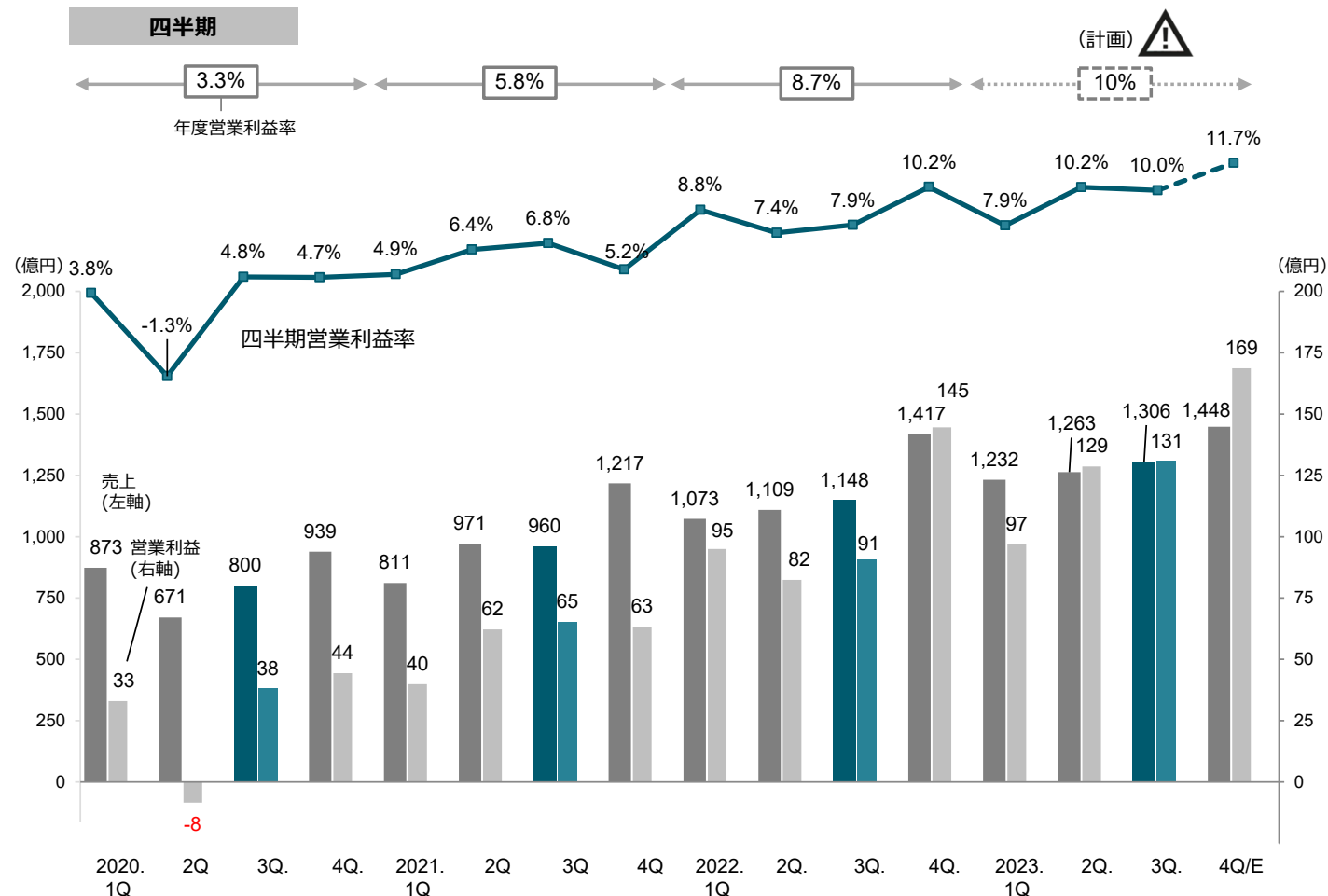
DMG MORI

(億円)	(第3四半期)			(通期)			
	2022年	2023年		2022年		2023年	
	1-9月 実績	1-9月 実績	YoY (%)	実績	YoY (%)	計画 (変更なし)	YoY (%)
連結受注	4,320	3,995	-7.5%	5,424	+18.9%	5,200	-4.1%
機械受注残高	2,740	2,800		2,540		2,550程度	
売上収益	3,330	3,802	+14.2%	4,748	+19.9%	5,250	+10.6%
営業利益	268	356	+33.1%	412	+78.7%	525	+27.4%
営業利益率	8.0%	9.4%		8.7%		10.0%	
当期利益	166	230	+38.9%	254	+88.7%	335	+31.9%
当期利益率	5.0%	6.1%		5.4%		6.4%	
1株当たり当期利益 (円)	121.77	172.95		188.62		253.03	
配当金 (円/株) *第3四半期は中間配当額	30	40		70		80	
償却費(リース含む)	174	193		240		270	
投資額	293	305		411		450	
USD/JPY	128.1	138.1		131.5		139.8	
EUR/JPY	136.0	149.6		138.1		151.0	

四半期および年度業績推移

DMG MORI

- 第3四半期（7-9月）の営業利益率も10%確保
- 第4四半期（10-12月）はさらに収益率改善見込み。年度での営業利益率10%達成確度高まる



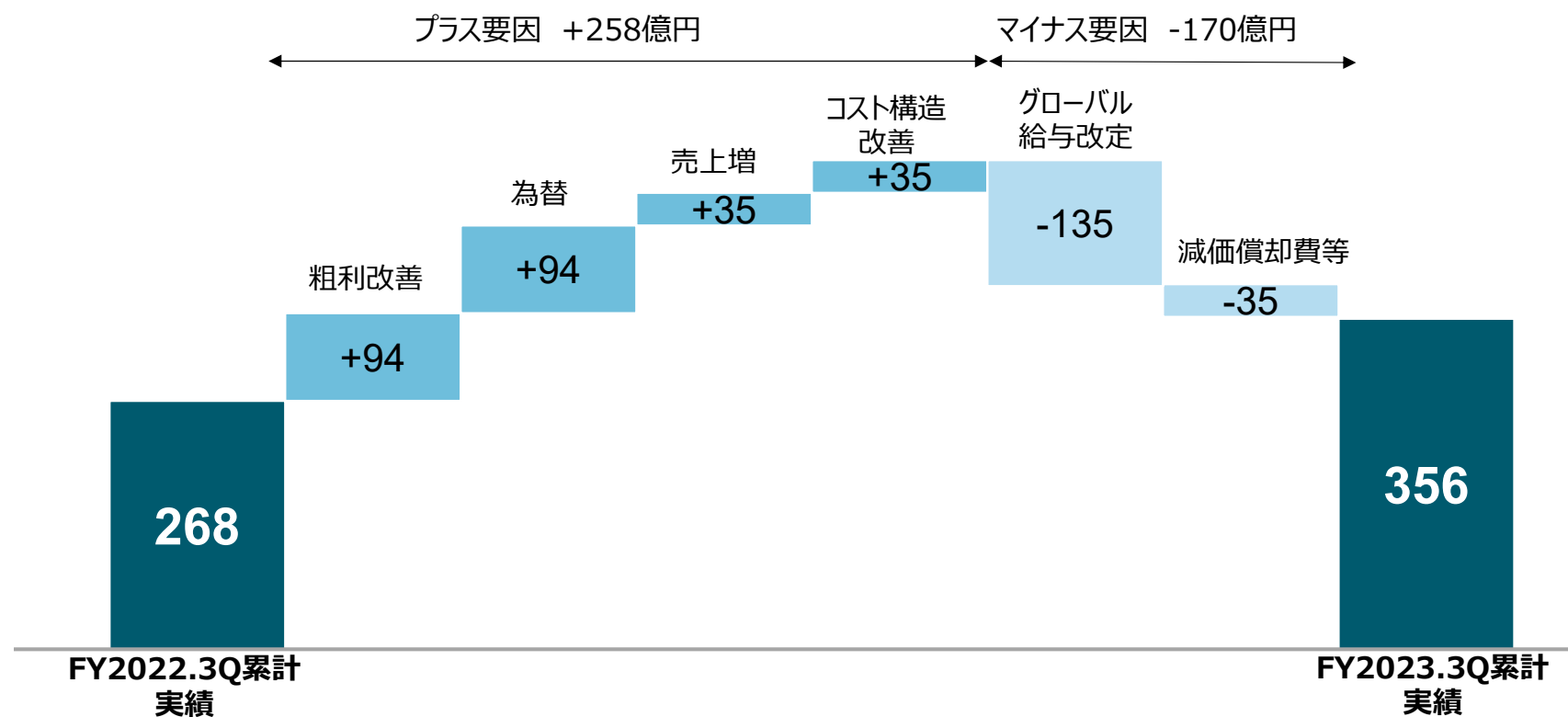
営業利益増減分析 2022年度第3四半期 vs. 2023年度第3四半期

DMG MORI

- ・ MX提供による粗利益改善、内製部品の生産性向上などコスト構造改革効果が継続。円安効果も大
- ・ グローバル給与改定による負担を吸収して88億円の増益確保

(億円)	FY2022.3Q	FY2023.3Q	増減
売上収益	3,330	3,802	+472

		FY2022.3Q	FY2023.3Q
為替レート：	USD/円	128.1	138.1
	EUR/円	136.0	149.6

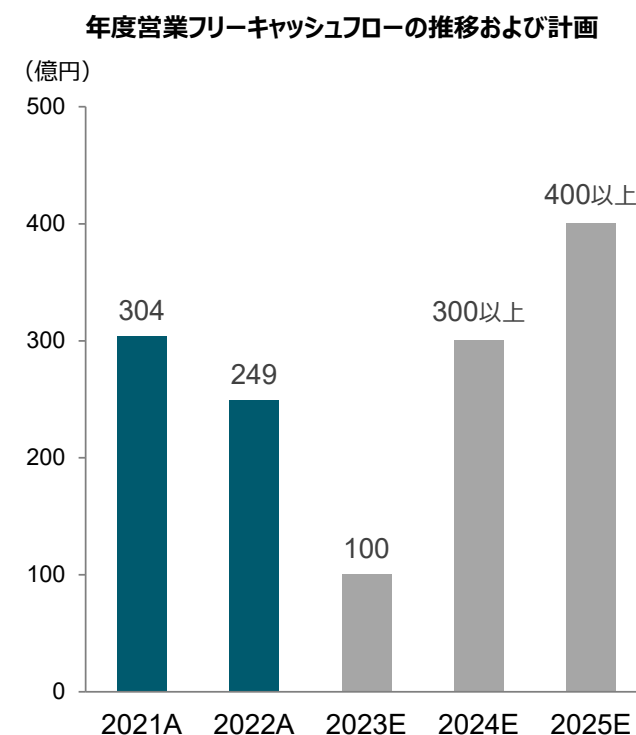


キャッシュ・フロー

DMG MORI

- ・ 第3四半期（7-9月）の営業フリーキャッシュフローは39億円の赤字。第4四半期の売上拡大に向けて在庫増加
- ・ 第4四半期は、在庫からの売上増・利益増により営業キャッシュフローは大幅黒字。年度営業フリーキャッシュフローは100億円計画

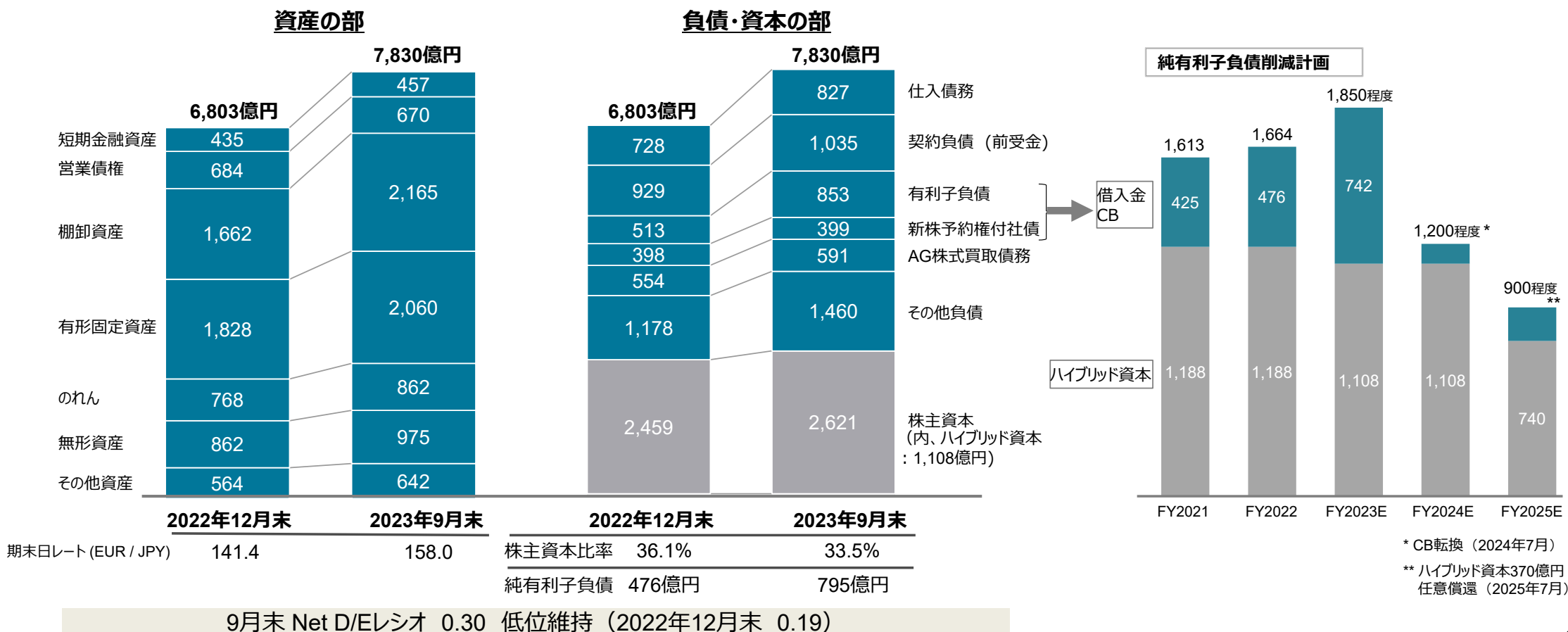
(億円)	2022					2023				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q (計画)	FY (計画)
営業キャッシュフロー	125	236	101	235	697	93	51	58	348	550
税引前四半期利益	89	74	80	122	365	85	112	117		
償却費	56	60	58	66	240	62	63	68		
運転資本増減	-18	99	-9	51	123	-17	-102	-71		
その他	-2	4	-29	-3	-31	-37	-23	-56		
投資キャッシュフロー	-101	-115	-118	-115	-449	-111	-101	-96	-142	-450
営業フリーキャッシュフロー	24	121	-17	121	249	-18	-50	-39	207	100



貸借対照表サマリー

DMG MORI

- ・ 為替の影響額、約600億円
- ・ 棚卸資産増、MX推進の投資増からNet Debt増加。株主資本比率の低下は、ハイブリッド資本80億円の返済も一因



1.2023年度第3四半期 (1-9月)決算概要

2.事業環境

3.EMO 2023 : MX (マシニング・トランスフォーメーション) の進展

- 工程集約機 : INH初披露
- 自動化 : AMR 2000初披露
- デジタル化 : CELOS X コンセプト展示
- 全世界からの工場見学ツアー

4.グループ戦略の強化

5.人材育成の取組み

6.その他

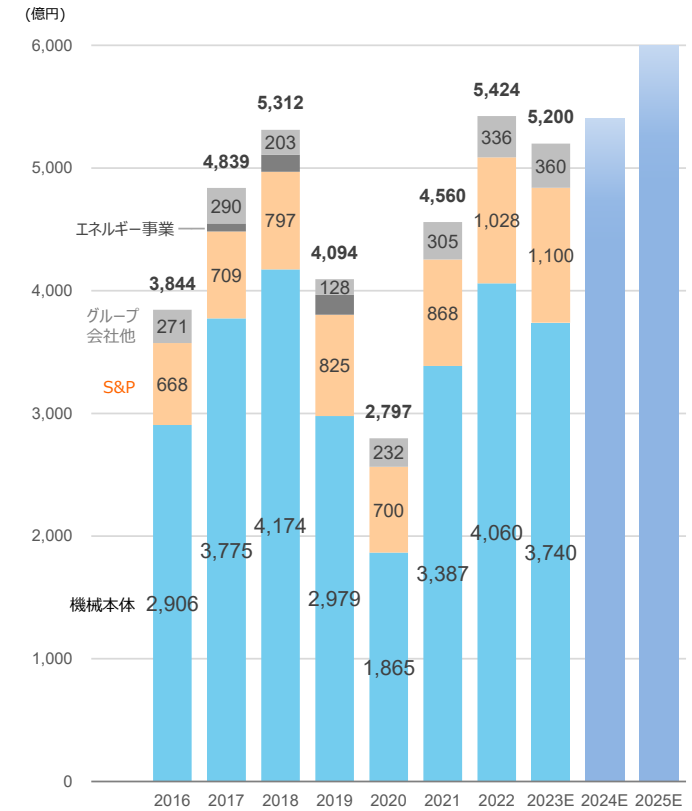
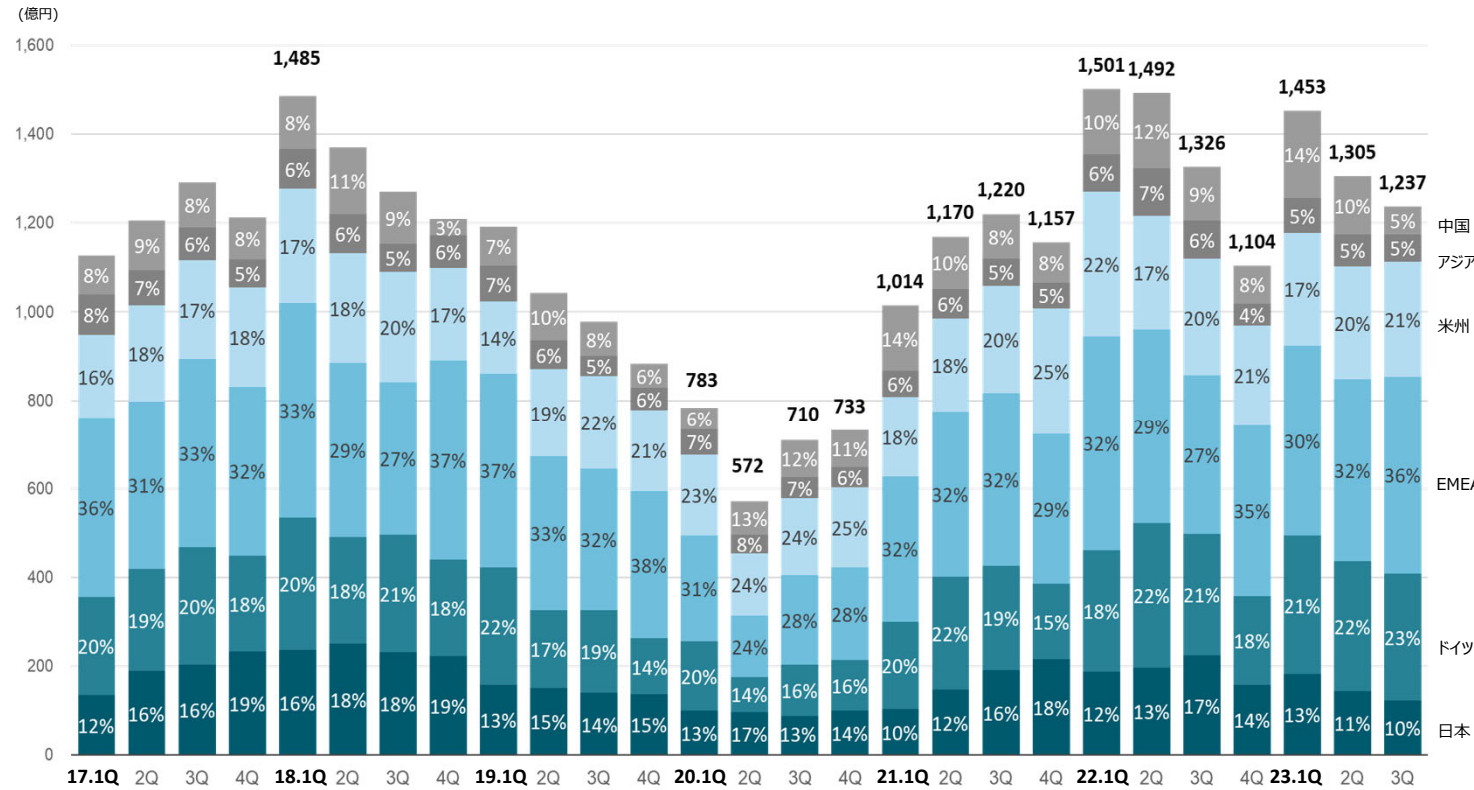
連結受注推移

DMG MORI

- ・ 第3四半期受注は前年同期比6.8%減（第2四半期受注は同12.5%減）
- ・ EMEA、ドイツ、米州の構成比上昇

四半期

年度

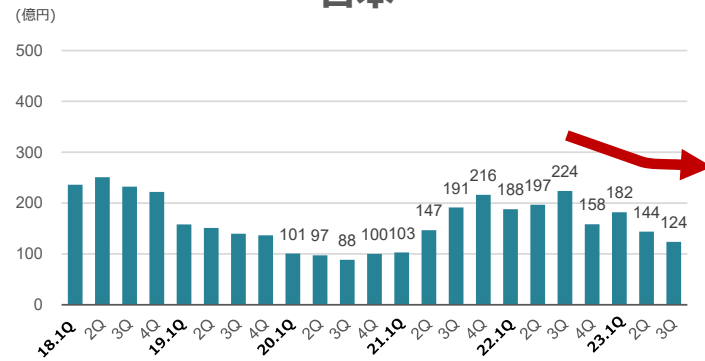


地域別受注推移

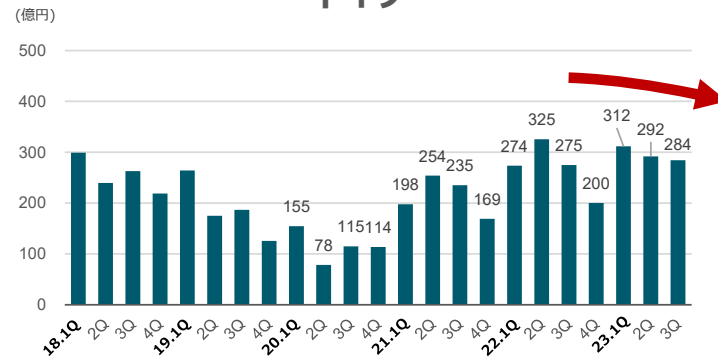
DMG MORI

- EMEA、米州は堅調。ドイツは横ばい圏。これら3地域は大型の自動化案件が活発
- 日本、アジアは弱含み。中国は大幅調整、マクロ景気の減速に加え、輸出規制が影響

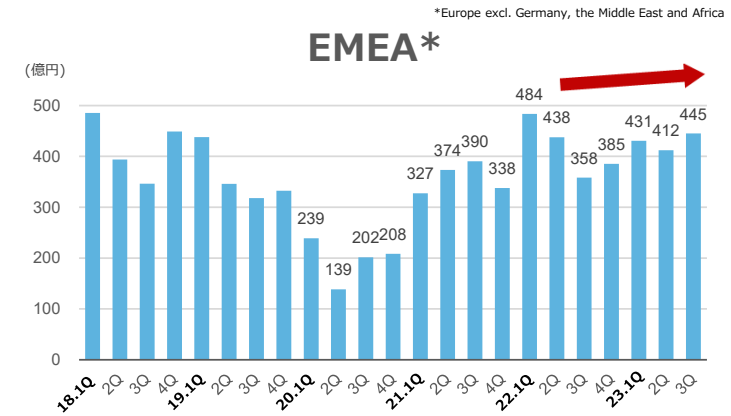
日本



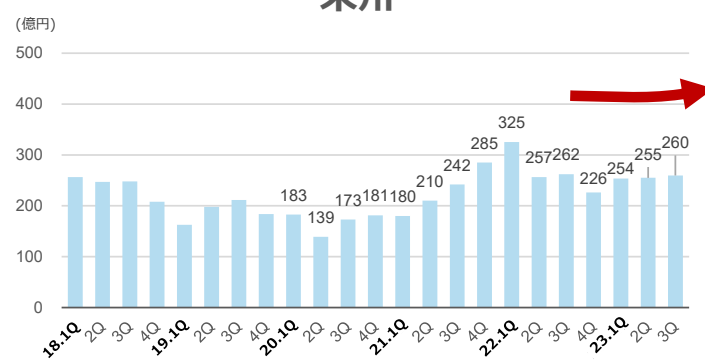
ドイツ



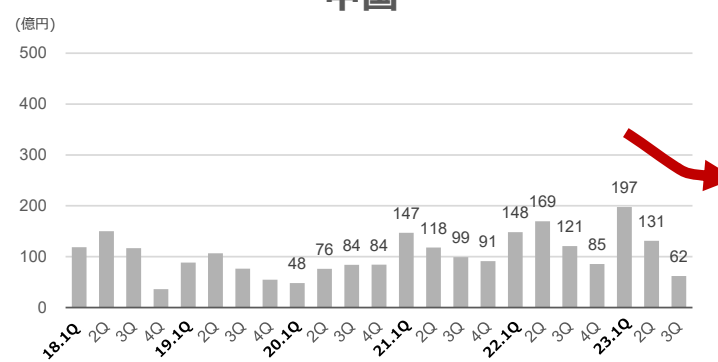
EMEA*



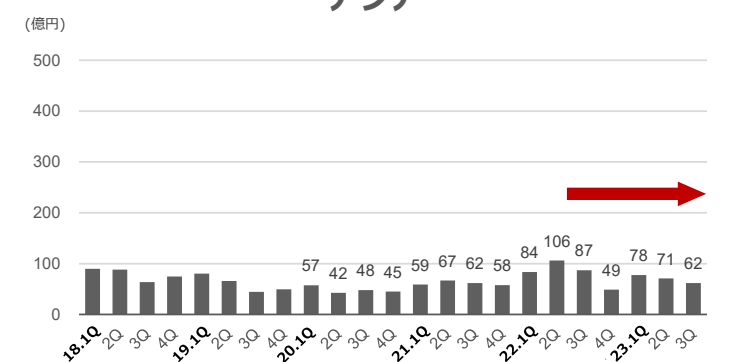
米州



中国



アジア



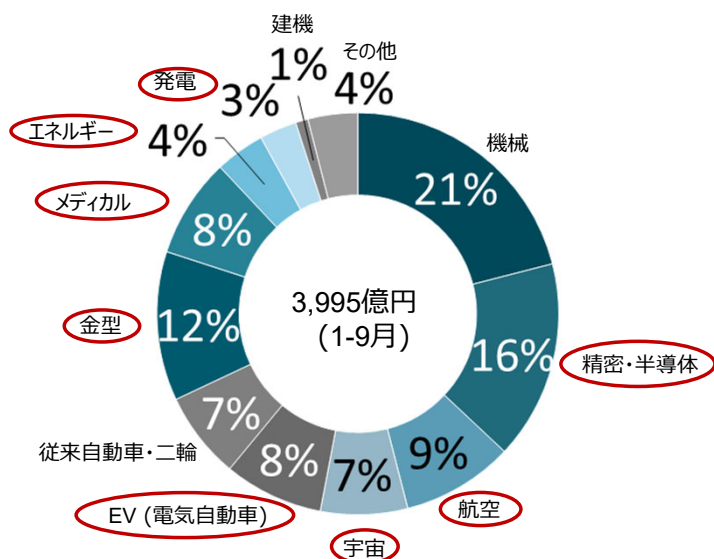
連結受注構成 (1-9月)

DMG MORI

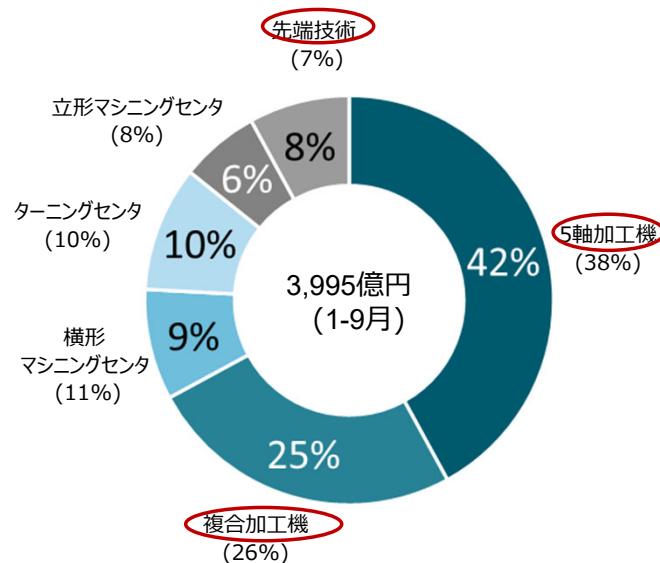
- ・ 航空、宇宙、メディカル、エネルギー・発電関連は堅調。半導体製造装置関連は欧州で回復基調
- ・ 大手・中堅企業は、工程集約・自動化投資継続。小規模企業は投資意思決定のリードタイム長期化

※金額ベース
※カッコ内：2022年1-12月

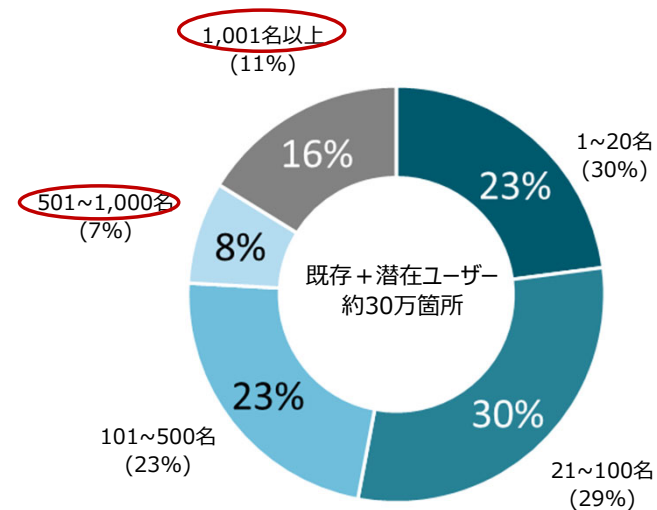
業種別



機種別



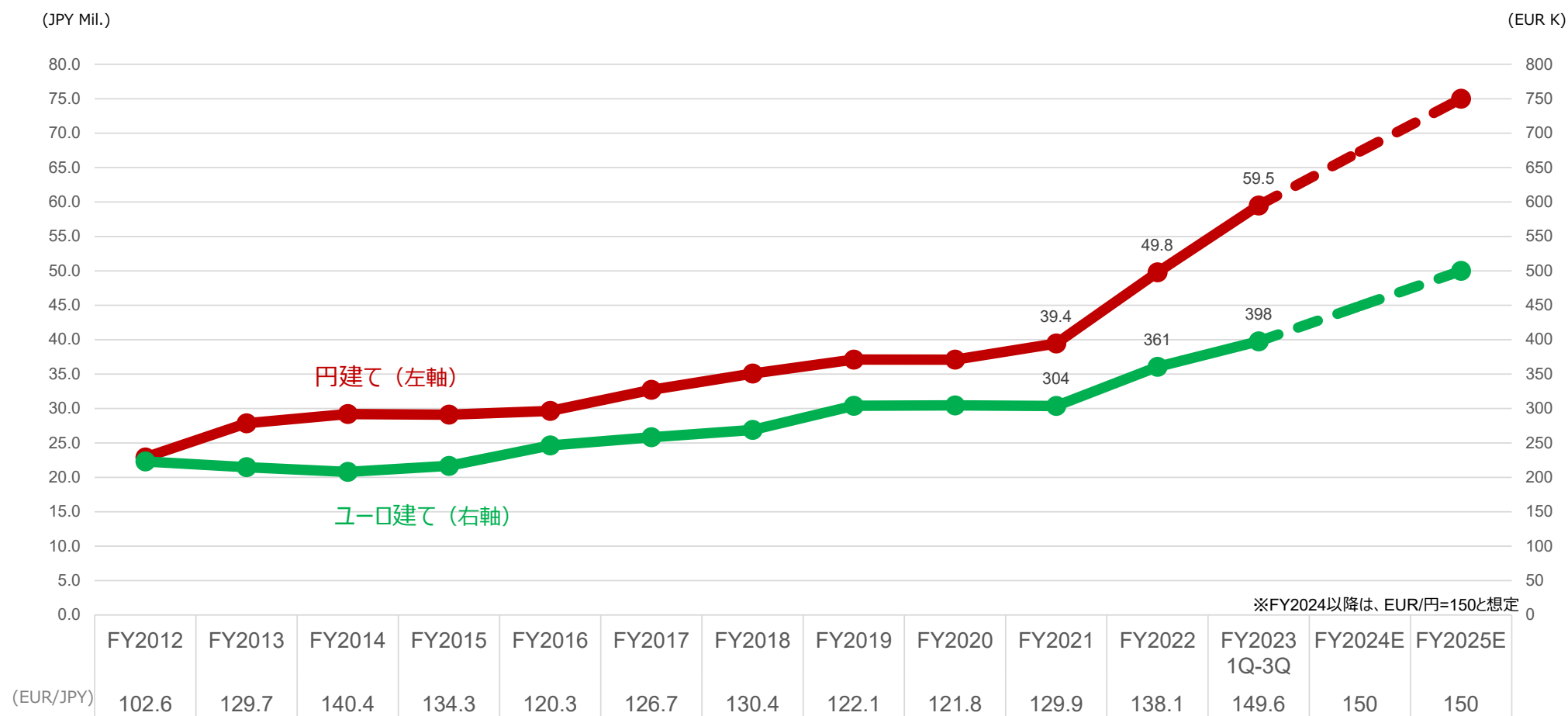
規模別



1台あたりの機械受注単価推移

DMG MORI

- 2023年度1Q-3Qの受注単価は 59.5百万円へ大きく伸長 (2022年実績：49.8百万円)。欧州通貨ベースでも、前年度比10%増
- MX（工程集約、自動化、DX化、GX化）推進により提供価値の向上と値引き率低減の寄与に加え、円安の影響大



1.2023年度第3四半期 (1-9月)決算概要

2.事業環境

3.EMO 2023 : MX (マシニング・トランスフォーメーション) の進展

- **工程集約機 : INH初披露**
- **自動化 : AMR 2000初披露**
- **デジタル化 : CELOS X コンセプト展示**
- **全世界からの工場見学ツアー**

4.グループ戦略の強化

5.人材育成の取組み

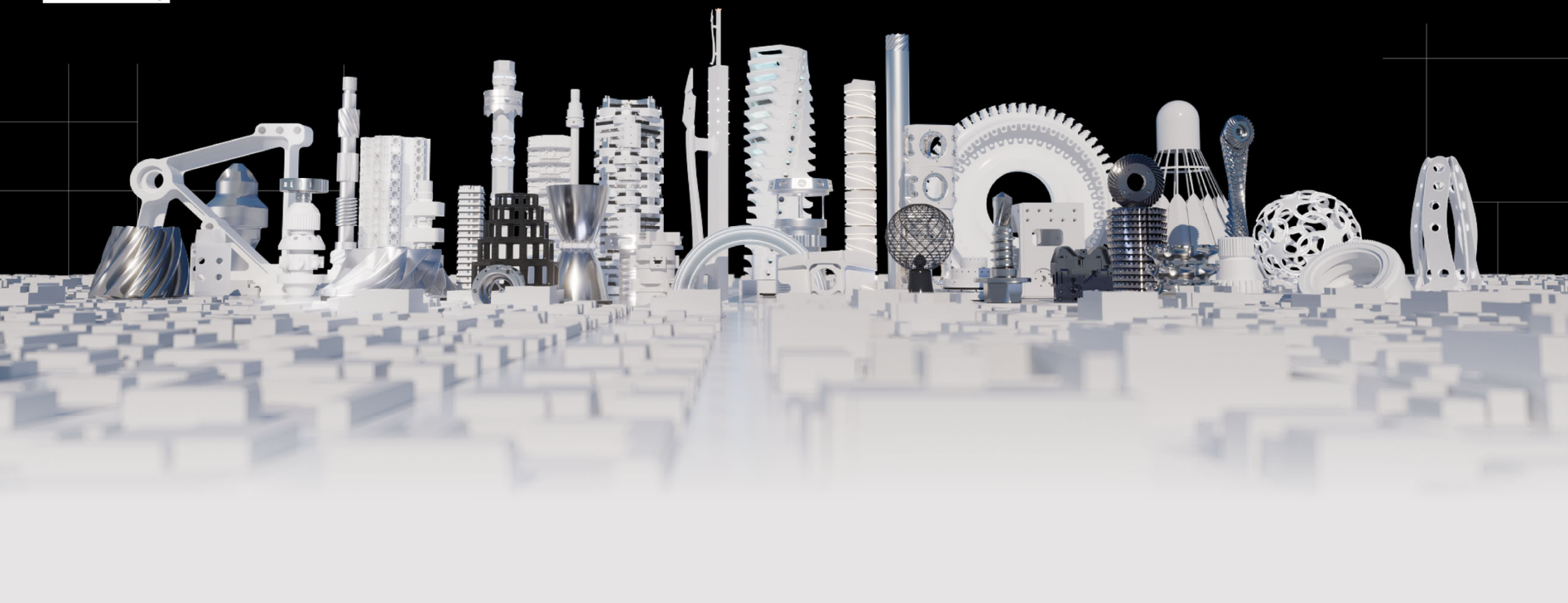
6.その他

EMO HANNOVER 2023 9月18日-23日

DMG MORI



DMG MORI CITY
THE HOME OF TECHNOLOGY



EMO HANNOVER 2023 ハイライト：MX (マシニング・トランスフォーメーション)

DMG MORI



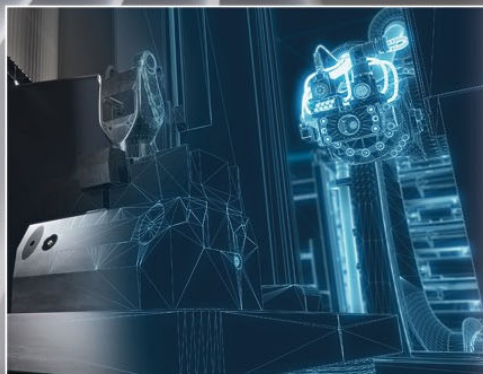
PROCESS INTEGRATION



AUTOMATION



DX - DIGITAL TRANSFORMATION



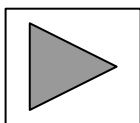
GX - GREEN TRANSFORMATION



EMO HANNOVER 2023 工程集約：高精度5軸制御横形マシニングセンタ「INH 63 / INH 80」公開

DMG MORI

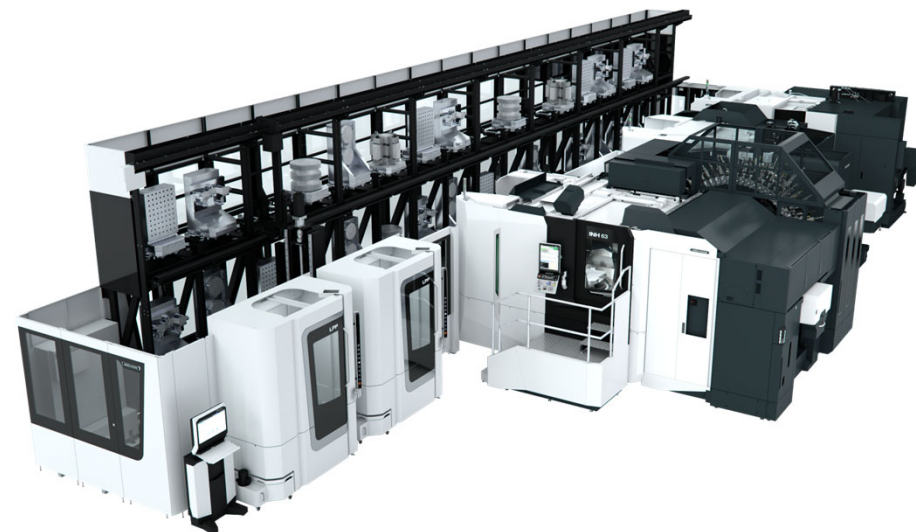
✔ 高精度、生産性、柔軟性の3つを特長とした独自技術を備え、お客様のMXを実現



INH 63



INH 80



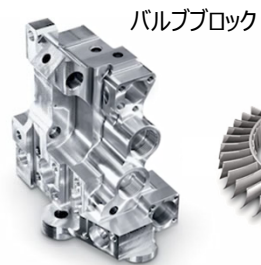
LPPを活用したNHX（4軸機）とINH 63（5軸機）の自動化システム

航空機産業

エネルギー産業

金型

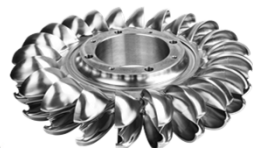
電気自動車（EV）



バルブブロック



ディスク



ペルトンホイール



射出成型金型



ダイカスト金型



モータハウジング

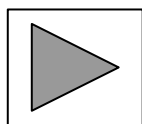


バッテリーケース

EMO HANNOVER 2023 自動化: 21種類の自動化システムを展示、AMR 2000公開

DMG MORI

- ✓ 用途自由度の高い自律走行ロボット AMR 2000を世界初披露、ワーク、切りくず、工具を2000kgまで搬送可能



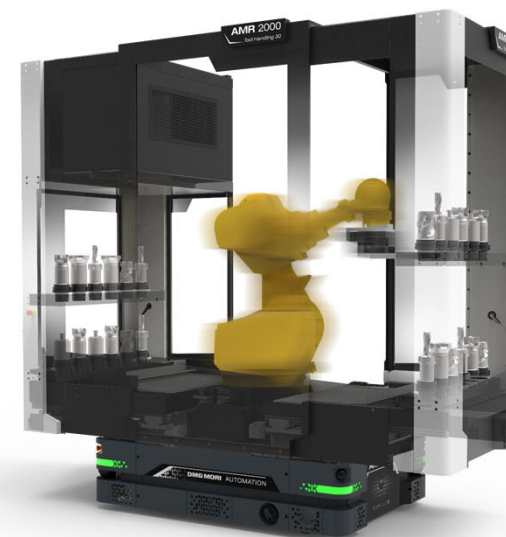
NEW



切りくず廃棄



ワークハンドリング



ツールハンドリング

EMO HANNORVER 2023 DX: CELOS X, CELOS Xperience, CELOS Xchange

DMG MORI

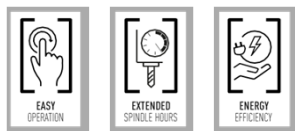
ハードウェア(操作盤) **ERGOLine X**
ソフトウェア **CELOS X**

NEW



CELOS Xperience

1. EASY OPERATION
2. EXTENDED SPINDLE HOURS
3. ENERGY EFFICIENCY



- 予知保全
- 機械ダウンタイム最小化
- 定期診断



AIでデータ処理

CONNECTIVITY
by **DMG MORI**

アプリケーション1
生産計画

アプリケーション2
機械モニタリング

アプリケーション3
ERP

CELOS Xchange



CELOS X 搭載機

既存のDMG MORI機

他社機

全世界で工場見学ツアーを開催

DMG MORI



1.2023年度第3四半期 (1-9月)決算概要

2.事業環境

3.EMO 2023 : MX (マシニング・トランスフォーメーション) の進展

- 工程集約機 : INH初披露
- 自動化 : AMR 2000初披露
- デジタル化 : CELOS X コンセプト展示
- 全世界からの工場見学ツアー

4.グループ戦略の強化

5.人材育成の取組み

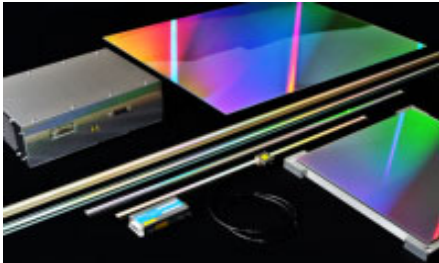
6.その他

株式会社マグネスケール：奈良市・大和郡山市にレーザスケール工場を建設

DMG MORI

- ✔ 世界最高レベルの2.1ピコメートルの分解能レーザスケール生産能力を増強
- * 1ピコメートル = 1ミリメートルの10億分の1
- ✔ 半導体製造装置の前工程向け高精度計測市場シェア50%

((株) マグネスケールによる推定)
- ✔ 既存の伊勢原事業所と奈良事業所の2拠点生産体制により、事業継続体制（BCP）を強化



超高分解能レーザスケール

■ 株式会社マグネスケールの概要

本社	東京都江東区
主要事業所	神奈川県伊勢原市
創立	1969年8月
	2010年にソニーマニュファクチャリングシステムズ社の計測機器事業を譲受け
事業内容	マグネスケール、レーザスケール、デジタルゲージの開発・生産・販売
従業員数	352人（連結/2023年9月時点）
売上高	2010年 買収時 2023年度 見込み 2030年度 目標 約50億円 約200億円 約400億円



敷地面積	13,220㎡（2025年下期操業開始予定）
総投資額	約117億円
生産能力(年)	25,000軸（現） → 60,000軸

倉敷機械株式会社の全株式取得予定

DMG MORI

■ 譲受けスケジュール等

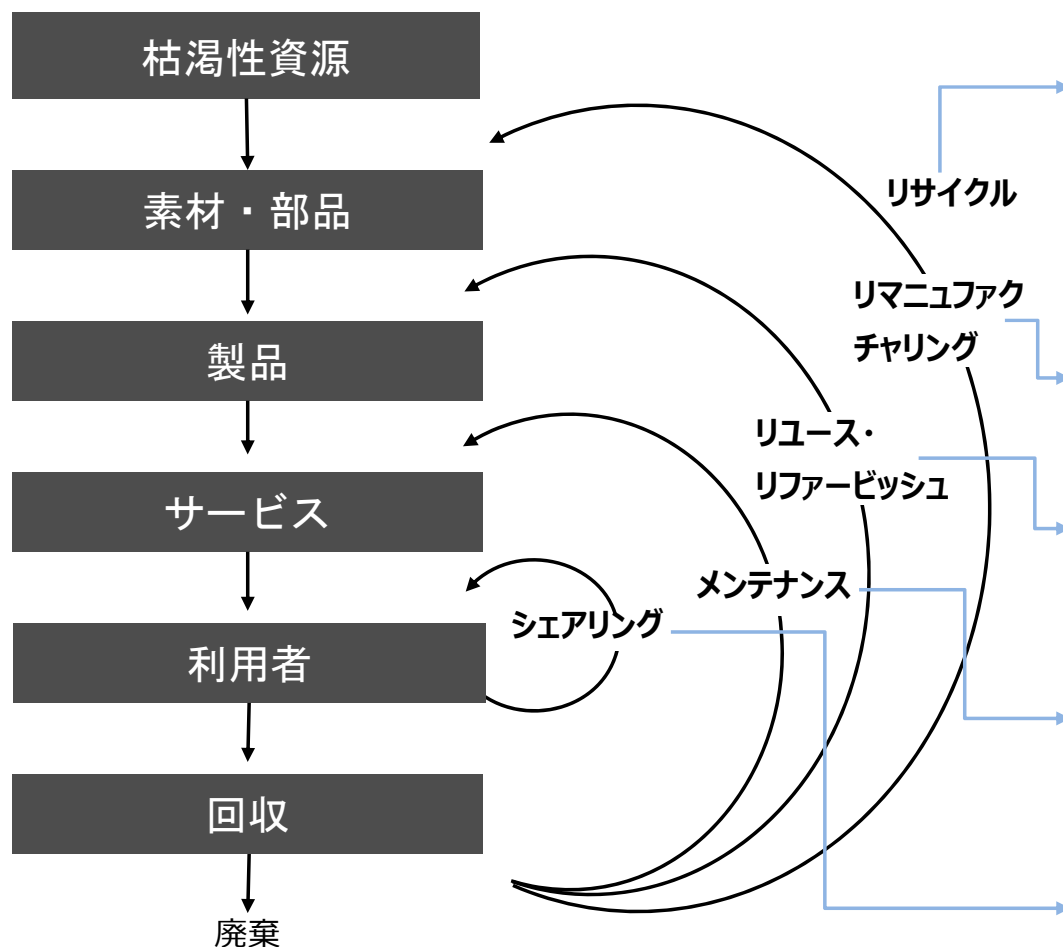
株式譲渡契約	: 2023年9月6日 締結済
株式譲渡	: 12月末まで（予定）
譲渡価額	: 45億円

■ 倉敷機械株式会社概要

所在地	新潟県長岡市
主要製品	CNC横中ぐりフライス盤 （国内市場シェア 約40%）
主な顧客産業	自動車、船舶関連、新エネルギー、 航空・宇宙ほか
従業員数	295人（連結/2023年3月20日時点）
直近業績	2023/3期(実績)
売上収益	約60億円
営業利益	約2億円
営業利益率	約3%

DMG MORI × **KURAKI** 技術のチカラで世界を作る





リサイクル：鋳物リサイクル

- ・DMG MORIキャストックにて廃却機を利用した鋳造原材料取得のトライアル開始済み
- ・採算面もクリア
- ・鋳物の全使用量の20%を賄う計画

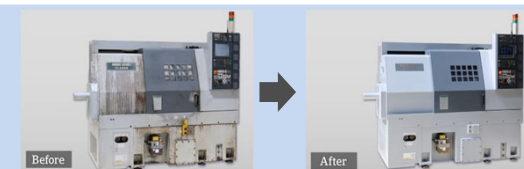


リマニュファクチャリング：主軸ユニットのリビルド

年間1,000本 / 2023年



リユース・リファビッシュ：中古機販売



サービス・メンテナンス (売上の20%強)

工作機械の安定長期使用に貢献



シェアリング：AM Lab & Fab

AM機による受託加工サービス拠点
お客様との技術の共有



1.2023年度第3四半期 (1-9月)決算概要

2.事業環境

3.EMO 2023 : MX (マシニング・トランスフォーメーション) の進展

- 工程集約機 : INH初披露
- 自動化 : AMR 2000初披露
- デジタル化 : CELOS X コンセプト展示
- 全世界からの工場見学ツアー

4.グループ戦略の強化

5.人材育成の取組み

6.その他

国内 DMG MORI ACADEMY 仙台開所（9月8日）：金沢、浜松に次ぎ3拠点目

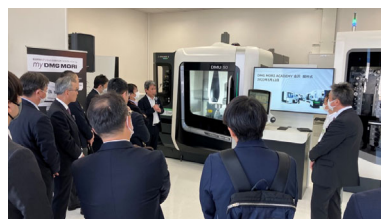
DMG MORI



NEW 仙台 (2023年9月開所)



DMG MORI ACADEMY 仙台



金沢 (2023年5月開所)

岡山 (2024年開所予定)

福岡 (2024年開所予定)

伊賀 名古屋

東京



浜松 (2023年4月開所)



DMU 50 3rd Generation



NTX 1000 2nd Generation

人材育成:「5軸加工技術検定」提供開始 (2024年1月～)

DMG MORI

「5軸加工技術検定」 技術水準を4段階で評価

	ブロンズ	シルバー	ゴールド	プラチナ
5 軸 加 工 技 術 検 定 資 格 体 系	図面知識と製品知識			
	機種選定 / 生産工程設計			
	加工工程設計			
	プログラミング / シミュレーション			
	工具選定 / 治具選定			
	段取り / 実加工			
	据付・精度調整			
	作業管理・メンテナンス			



第47回技能五輪国際大会 日本代表選手選考会「旋盤」職種、「フライス盤」職種 DMG森精機 伊賀事業所にて開催

DMG MORI

第47回技能五輪国際大会 日本代表選手選考会
2023年10月8日（日）～10日（火）

主催：厚生労働省、中央職業能力開発協会

場所：DMG森精機 伊賀事業所

職種：CNC旋盤、CNCフライス盤

競技使用機種(各2台)：

NLX 2000 | 500、

NVX 5080 | 40 2nd Generation

本大会：2024 年9 月 フランス・リヨンで開催



本選考会に関する中央職業能力開発協会のWebページ：

https://www.javada.or.jp/jigyuu/qino/kokusai/47_CNC_senkoukai.html

第18回(2023年) 切削加工ドリームコンテスト

DMG MORI



表彰式

11月27日（月）

於：帝国ホテル東京

産業部品加工部門

金賞	巨大極薄リング	アイジーエヴァース株式会社 様
銀賞	画像検査装置照明用非球面 ハニカムレンズアレイ	サークルアンドスクエア株式会社 様
銅賞	旋削樹脂製タケノコバネ10°	古賀電機株式会社 様
技能賞	ウェーブガイド	有限会社湘南オートカット工業 様

アカデミック部門

金賞	パズル型スリットレンチキュラー	兵庫県立神戸高等技術専門学院 様
銀賞	リサイクル素材（ボトルキャップ）の団扇	近畿大学工業高等専門学校 生産システム工学科 機械工学 様
銅賞	石膏埋め込み式加工を用いた バラとカブトムシの製作	中国職業能力開発大学校 生産技術 科 古賀研究室 様
銅賞	削り出しオロイド	兵庫県立ものづくり大学校 機械加工 コース 様

試作・テスト加工部品部門

金賞	極小径連続長物	古賀電機株式会社 様
銀賞	ばねじ	京セラ株式会社 様
銅賞	超薄肉超微細穴カプセル	アイジーエヴァース株式会社 様
銅賞	ミニやかん（火にかけないでください）	株式会社アスク 様
技能賞	イソギンチャク型 マイクロノズル	亜木津工業株式会社 様
技能賞	タービンブレード・アンモナイト	株式会社キャステム 様

先端加工部門

金賞	透明絵画～相州梅沢左～	株式会社イナック 様
----	-------------	------------

芸術造形加工部門

金賞	紙	株式会社誠武 様
銀賞	Hubschrauber	野田プラスチック精工株式会社 様
銅賞	凜と咲くオキザリス	サークルアンドスクエア株式会社 様
銅賞	ミヤマクワガタ Lucanus maculifemoratus	山本精機株式会社 様
技能賞	潜像模様の2面盃	アイジーエヴァース株式会社 様
技能賞	Petit Paris（プチパリ）	旭有機材株式会社 様

1.2023年度第3四半期 (1-9月)決算概要

2.事業環境

3.EMO 2023 : MX (マシニング・トランスフォーメーション) の進展

- 工程集約機 : INH初披露
- 自動化 : AMR 2000初披露
- デジタル化 : CELOS X コンセプト展示
- 全世界からの工場見学ツアー

4.グループ戦略の強化

5.人材育成の取組み

6.その他

ロシア製 工作機械の販売に係る現地調査の結果

DMG MORI

ドイツ 連邦経済・輸出管理庁 (BAFA*) } 両国における輸出管理規制を遵守して、法令違反はない
日本 経済産業省 (METI**) }

経緯：

- ・2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻以降、DMG MORIグループ管理下における経営実態はない
- ・2022年3月3日に、ロシア製造拠点 (Ulyanovsk Machine Tools)、販売拠点 (DMG MORI Russia)の営業停止を発表
残務処理を開始
- ・営業停止時点で、約120台の受注残あり
民生用途については、ロシアにおける訴訟及び当社機がロシア政府の管理下に置かれる可能性を回避するために、
日・独の輸出管理規制に従って納入。その入金、2023年度上期で完了
- ・納入出来ていない機械については、お客様へ前受金を返金済み
- ・戦争以前に日本及び欧州から出荷された工作機械18台は、いまだ在庫としてUlyanovsk Machine Toolsにて保管
- ・ロシアの従業員約200人のうち、190人を解雇済み。残る9人のロシア人で、モスクワとUlyanovskの在庫及び資産保全を担当

BAFA*: (ドイツ語) Bundesamt für Wirtschaft und Ausfuhrkontrolle / (英語) Federal Office for Economic Affairs and Export Control

METI**: (英語) Ministry of Economy, Trade and Industry

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ▶当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- ▶為替相場の変動
- ▶当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- ▶タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- ▶当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ▶独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更
- ▶COVID－19に関する日本国及び諸外国の渡航又は自宅待機規制の動向